

（ 令和7 ） 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 修学院第二 ） 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗い	コロナウイルスやインフルエンザなど、感染防止の観点から手洗いの徹底を行う。コロナ禍から続いていたことで、自然と手洗いができている。また、おやつ前にハンカチを持っているが確認することで、ハンカチを持っていることも増えた。今後も手洗いの習慣化を継続していきたい。
	健康の管理・情緒の安定	話を聞く	昼食やおやつのお茶や、強の会・療の会等、職員だけでなく子ども同士で話を聞ける時は、正しい姿勢で話を聞けるように指導をする。また、倉成室の机の配置を変更した関係で、休むと話している人の方を向くように指導している。依然として放途中におもちゃや本を触ったり、前で誰かが話していても話し声が聞こえたりする場面があるため、引き続き指導を行っていく。
	健康の管理・情緒の安定	持ち物の管理	毎月返とし物一覧を貼りだしており、「自分の物だ」と気付いて取りに来る児童や保護者が抑えてはいる。ロッカー内の荷物に関しては、モンがはみ出していたり、鉛筆など小さいものが置きっぱなしになっていることも多い。来年度からロッカーが固定ではなくなるため、今以上に持ち物管理を意識してもらうよう声かけしていきたい。
	基本的な生活習慣の確立	下館指導	4月中旬・下旬にかけて、職員が集団のこどもの付き添いを行う。1年生のお家を把握する事ときちんと帰れているかの確認をする。職員がついて帰るときはきちんと帰れているが、職員がいないと帰らないという子もいる。話を聞くことが出来る子が増えている。走って帰っていたり、迷う道を通っている子がいるという話を聞いた。その都度指導している。
	基本的な生活習慣の確立	当番活動	帰りの会で3年生が曜日交代で司会をする。掃除の当番活動は、その時間帯にいる3年生が少ないこと等の理由により、年度途中で廃止した。
子ども育成機能	社会生活技術の獲得	入退室の打刻	さくらdaysの入退室の打刻を定着させることで、保護者の安心につながっていた。今後も同様に続けていきたい。
	生活体験の拡大	入会式	春休みの土曜日に、来賓に小学校校長、保護者会会長を招き行う。2年生以上によるけん玉・お手玉披露も行い、新一年生や保護者に見学館の雰囲気を知ってもらう機会となった。
	自立の促進と自主性の確立	避難訓練（火災・地震・不審者対応）	7月・9月・2月に火災、6月・1月・3月に地震を想定した避難訓練を行った。左京消防署や消防団、地域の方々に協力していただき、より実践的な訓練を行うことができた。また、下町警署の方を呼んで、職員の不審者対応、こどもの不審者対応を実演で教えていただいた。どうしても、訓練だからとぶざけてしまう子がいるので、いかに本番を想定して真剣に取り組んでもらうか、工夫していきたい。
	生活体験の拡大	児童館まつり 準備・当日スタッフ	児童の中からスタッフリーダーを募集し、企画、準備の中心になって活動してもらった。1年生は装飾で参加、2年生以上は各コーナーに分かれて準備や当日運営を行った。当日は当番を忘れていて来なかった子もいたが、時間で交代しながらコーナーの担当を頑張った。コーナー内容も、何度も遊ぶ子どもも多く、皆楽しんでいた。
	生活体験の拡大	大掃除	12月の開館最終日に児童館内の大掃除に取り組む。普段とは違った掃除場所ばかりなので、皆率先して掃除してくれた。特に外掃除をした子は外に出られることを喜んでた。
	生活体験の拡大	お別れ会・修了式	学童クラブに所属しているこどものみで行った。1年間の思い出を出るスライドショーで振り返り、修了証、文集、記念品（タンブラー）を渡した。また保護者から昇進する職員への花束を渡した。こどもたちと職員でゆっくりと思い出を共有できる時間になった。
	生活体験の拡大	誕生日会	月に1回、誕生日会を行う。普段のおやつとは違うおやつを食べたり、誕生日カードの手渡しを行う。大人のため、みんな遊びの時は特に騒がしくなりがちだった。お祝いをする場としてこの日があることを参加しているこどもたちに理解してもらい、皆が気持ちよく過ごせるような会にできるよう工夫が必要。
	生活体験の拡大	あそびの発表会	2月の離乳の入会説明会に合わせて行った。こどもの普段のあそびの様子を保護者にみてもらうことができた。また遊びの交流の時間を設け、保護者とこどもが一緒に遊んだり、職員が保護者と話すことができる機会となった。
	生活体験の拡大	花火大会	保護者会の協力を得て、小学校のグラウンドで実施。多くの参加があり、楽しんでもらえた。一方で、暗くお互いの顔が見えずらく交流としては満足ない。ゴミの後始末等のクリスマス当日に実施。エコーセンターと科学センターで、2グループに分かれて過ごす。人数を半分にしたことと、エコーセンターの一室を1日借りることができ、昼食をとることができた。天気はあいにくの雨だったが、時間を待たず帰ることができた。
	生活体験の拡大	クリスマス遠足	7月に実施。児童館での過ごし方の説明やこども達の様子をスライドショーを見ていただく。
家庭支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	夏休み説明会	新しく学童クラブに入会する児童の保護者、継続の保護者を対象に実施。提出書類は職員で対応。児童館のルールや生活について、うまぶさくらについての説明等をパワーポイントで行い、質疑応答を含め約1時間ほどで終了した。
	子育ての仲間づくり	学童入会説明会	8月の夏休み中に行った。この日は保護者の【お弁当を作る】という負担を軽減でき、参加者も多く、こども達も楽しみにしていた。アレルギーやアレルギー対応のことも、食べられるが食べられないものもある。お弁当に気を配り、提供した。
	子育てを支えるネットワーク形成	お弁当なしDAY	保護者会と協力して行った。普段の児童館とは違う様子に、こどもたちは大興奮だった。各コーナーも凝ったものが多く、楽しそうに遊んでいた。かき氷は少しおかわりもでき、こどもたちは喜んでた。夏休み期間の気分転換にもなった。
	子育てを支えるネットワーク形成	夏のお楽しみ会	さくらdaysの入退室の打刻を定着させることで保護者が安心して就労できるようにする。
	子育てを支えるネットワーク形成	入退室の打刻	6月に1年生、12月に2年生以上の希望者を対象に行った。写真を撮らせながら、児童館での様子を伝えた。

